

いずみ会/旧都立大泉中学校・都立大泉高等学校同窓会

会報いずみ 第60号

発行/いずみ会 編集/いずみ会会報部
〒178-0063 東京都練馬区東大泉5-3-1 都立大泉高等学校内
事務所 東京都練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
ホームページ <http://www.izumikai.com/> e-Mail izumikai@v7.com

主な記事

- 2・3 執行部
- 4～8 母校
- 9～12 緑蔭
- 13～15 会員・同期会
- 16 会計より・寄付者一覧
- 18 声・討報
- 19 お知らせ
- 20 総会案内

新体制スタートします

いずみ会の充実発展を期して

いずみ会会長
大串 康夫



「いずみ会の皆様、今日は!」。6月の評議員会で会長に選出された14期の大串康夫です。ヨロシクお願い致します。

「いずみ会」は、昨年70周年を超えて会員の年齢構成も18歳から80歳へと縦に長～くなって参りました。世代を超えて皆が大泉高校を愛しく想い、安らぎを感じる、明るく楽しい同窓会となるよう新理事一同、一所懸命やりますので、ご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

いずみ会の目的第1は、「会員相互の親睦」、先ずは情報の共有です。お手元に届いた会報でいずみ会1年間の活動を大きく把握できますが、年1回ですのでチョット間が空きます。もっと知りたい方は、充実度を増しているホームページに是非アクセスして下さい。きっと興味深いニュースに出会われると思います。

また、秋の総会・懇親会に足を運んで下さい。母校の校門・桜並木が懐かしく、再会する友、先・後輩との話の花が咲くこと請け合いです。すっかり定着した縦の同期会、今年は「6の会」が担当で皆様を楽しませるイベントを企画しています。

いずみ会では、同期会や部活のOBOG会の活動を支援しています。そして同好の士によるサークル活動も活発です。楽しく盛り上がりましょう。

いずみ会の目的第2は、「母校の発展への寄与」です。大泉高校は、この春に中高一貫校の1期生が巣立ちました。学校では文武両道のバランスの取れた人材教育に力を入れています。いずみ会は、生徒への社会人講話や英語講座に講師派遣をしています。OBOGによる部活支援も期待されます。

学校側と調整して卒業生への記念品贈呈や入学希望者へのファイル配布を支援し、最近では、新校舎に大時計や校名看板を寄贈しました。これからも保護者会(PTA)とも連携して学校の要望に応じて母校発展に寄与していく所存です。

いずみ会は皆様の会です。いずみ会の更なる充実・発展を期して皆様の建設的な御意見と協力・支援を切にお願い致します。

新役員紹介

平成28年6月4日の平成28年度定時評議員会にて下記の役員が選任されました。2年間よろしくお願いたします。

- | | |
|-----|--------------------------|
| 会 長 | 大串 康夫 (高14期) |
| 副会長 | 國谷 俊之 (高14期) |
| | 石川 文武 (高15期) |
| | 荒井真理子 (高20期) …会報部長兼務 |
| 理 事 | 青木 隆 (高18期) …事務局長 |
| | 成田 俊彦 (高17期) …会員情報部長 |
| | 富井 利尚 (高18期) …HP部長 |
| | 山口 達夫 (高20期) …会計部長 |
| | 山川 新 (高24期) …人材バンク部長 |
| | 伊藤 勲 (高40期) …総務・企画部長 |
| | 布施百合子 (高14期) 岩崎 誠 (高18期) |
| | 田村 明子 (高19期) 中川 恵 (高20期) |
| | 田邊 夏樹 (高21期) 浜田 光 (高21期) |
| | 平井 秀明 (高22期) 真柳 仁 (高24期) |
| | 清水 由里 (高28期) |
| 監査役 | 寺島 孝 (高18期) 水野 國雄 (高19期) |
| | 花澤 亮司 (高22期) |



新役員の皆様

■退任された方々(敬称略)

- 高津 幸一(高13期)・片山 隆(高8期)・二宮 靖子(高8期)・村上 広(高15期)・橋本 豊(高18期)・別所 信子(高18期)・小出 薫(高18期)・直井 美喜子(高18期)・佐久間 優行(高19期)・小林 憲一(高20期)

ありがとうございました。

本年度

いずみ会総会・懇親会(於母校食堂)

平成28年10月29日(土) 午後2時より受付開始(詳細は20頁をご覧ください)

平成28年度定時評議員会報告

総務・企画部長 伊藤 勲

平成28年6月4日(土)、平成28年度定時評議員会が母校食堂にて開催されました。柴田校長、松永副校長、清水副校長、PTAの方々にも参加いただき、校歌斉唱の後、山川新理事より評議員会成立(定足数198名。13:30現在出席者76名、委任状提出者213名の計289名・最終出席者数88名)の報告がなされ、評議員会が始まりました。高津幸一会長からの「新しく中高一貫となった大泉高校も、我々が学んだ古き大泉高校と同じ『母校』として完全に融合し、一体化した存在になったのではないかと」との挨拶に、出席者の気持ちが一つとなりました。続いて柴田校長の「私が着任当初、生徒が歌っていなかった校歌をすべての行事で斉唱し、合唱コンクールの課題曲にもしている。」というお話に、大泉を過ごした時期はそれぞれ違っても、時代を飛び越え、同じ思いで審議に取り組むことが出来ました。議長には橋元宏氏(高校16期)が選任され、議長の進行に従って審議

が開始されました。

第1号議案「平成27年度事業報告及び収支決算承認」については、青木隆事務局長と山口達夫会計部長より、いずみ会70周年を背景に取り組んできた、名簿発行をはじめとする記念事業や、校名看板設置、横断幕寄贈、英語教育、社会人講話などの母校支援、いずみ会活性化へ取組状況の報告がなされ、その収支決算報告及び財政報告がありました。寺島寿監査役から理事の業務及び会計は適正である旨の監査報告があり、評議員からの質疑応答を経て、賛成多数で可決承認されました。第2号議案「平成28年度事業計画案及び予算案」については、従前からの継続課題(収入減、高齢化)への対応や周辺高等学校同窓会の取り組みを参考とした、新たな同窓会運営に係る効率化施策の導入を盛り込んだ事業計画、収入減少傾向の中、特に若手世代の活性化を重視した予算の説明がなされました。質疑応答では、全員が心の拠り所とする

母校の繁栄、国際社会の将来を担う現役生徒たちの育成、そしていずみ会の永続繁栄を、皆で真剣に議論しました。厳正な議論の結果、賛成多数を持って可決承認されました。第3号議案では大申新会長を筆頭とする役員選任、第4号議案では、いずみ会の会長経験者である早川氏(高校13期)、高津氏(高校13期)の顧問委嘱が付議され、いずれも賛成多数で可決承認されました。報告事項としては、「6の会」大場修一氏(高校16期)より、来る10月29日(土)にいずみ会総会及び懇親会を開催する旨案内があり、キャッチフレーズ『タテのつながりヨコのひろがり』を旗印に、若い期(30期以降)の参加を訴えました。

すべての審議終了後、大申会長から新役員の紹介があり、退任役員へ出席者から任期中の労をねぎらう感謝の意を込めた盛大な拍手が送られました。温かな雰囲気食堂を埋め尽くす中、定時評議員会は閉会しました。

平成27年度 いずみ会事業報告

いずみ会は規約に沿って、次の事業を実施した。

第1. 定時評議員会

いずみ会の最高議決機関である定時評議員会を平成27年6月6日(土)に母校食堂で開催した。評議員は開会時84名(最終104名)出席し委任状提出者223名を加えて定足数201を上回り評議員会は成立した。平成26年度事業報告、平成27年度事業計画案、規約改正(附属中学校に入学し高等学校へ進学しなかった生徒への対応)を承認した。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 平成27年度は、理事会を11回、監査会を2回開催した。
2. 平成27年4月および10月に開催された都立高校同窓会連絡協議会に参加した。

第3. 会報の発行・広報活動の充実

1. 会報いずみ第59号を平成27年10月1日に発行した。主な記事は次の通りである。
 - ・平成27年度評議員会報告
 - ・大泉高等学校・附属中学校 柴田誠校長挨拶
 - ・いずみ会70周年記念特集「私と大泉」
2. ホームページ (<http://www.izumikai.com/>)
 - ・体育祭、文化祭、卒業式、入学式など母校の行事をタイムリーに報告した。
 - ・まはな会などサークル活動案内、同期会案内などを掲載した。
 - ・平成27年度末時点で累計アクセスは昨年度末より9万増え24万を超えた。

第4. いずみ会創立70周年記念式典

今年度の総会はいずみ会創立70周年記念式典として平成27年10月24日(土)に285名が出席し練馬区立 区民・産業プラザにて開催した。合唱団によるオープニングコーラス、いずみ会会務報告を行った後、「自主創造70年を祝う」というキャッチフレーズの下、「5の会」を中心に多くの期が協力して結成した70周年実行委員会が、アトラクションおよび懇親会を企画運営した。まず、高校26期の桂扇生師匠による落語、続いて高校28期のプロ演奏家であるツルノヒロさん、板垣誠さん、朝香聡子さんのトリオによるミニコンサートを楽しんだ後、懇親会に入った。応援団OBによるエール、石川70周年実行委員長による開会の言葉、柴田校長からの旧校旗贈呈の後、和氣謙々と歓談しながら会食した。最後に「5の会」より「6の会」への引き継ぎを行い、村上70周年実行委員会事務局長の開会の言葉でお開きとなった。

第5. 会員情報の整備、70周年記念名簿発行

1. 会員情報の整備に向け、平成27年6月と平成28年3月に会員情報部会を開催し各期会員情報部幹事の確認と積極的な会員情報活動を促した。
2. 70周年記念名簿を発行するため、会員情報部内に名簿発行準備委員会を立ち上げ名簿掲載

記事の編集を行った。発行作業を株式会社サラトに委託し、夏以降は毎月サラト社と定例会を開催し、業務の円滑推進に努めた。

これらの活動を通して平成28年1月にいずみ会70周年記念名簿を発行した。名簿掲載記事は読み応えがあり名簿について見やすいとの好意的評価をいただいた。名簿発行総数は賛助金協力者分、広告掲載者分を含め約2,800部となった。

3. 「高校68期の名簿」を作成し、新会員へ配布した。
4. いずみ会個人情報取扱規定に則って、同期会およびクラス会などの開催を支援した。

第6. 財政管理

1. 会費納入率の向上、寄付金額の増加、広告額の増加等の増収対策を今年度の課題としたが、残念ながら会費は前年度比7%減であった。寄付金は、いずみ会70周年を記念し多くの会員からの協力が得られ、予算には達しなかったものの前年度比13%増となった。広告も同様に多くの会員の協力があって予算比180%、前年度比30%増となった
2. 入会金は母校の協力を得られほぼ90%以上の新会員から納入していただいた。
3. 27年度収入全体で見ると予算比96%、前年度比15%増となった。
4. 会の財政を改善するために経費節減に努めた。
5. 運用効率向上のため平成27年度からクラウドシステムを導入し順調に稼働している。
6. 長期的な財務体質強化等を検討した。
7. 会費納入率改善を図る為、コンビニ払込や銀行振込等について検討した。

第7. 母校及びPTAとの連携

1. 母校の発展に寄与するため、社会人講話、中学生への英語教育、その他の学校諸活動への支援を行った。
2. 平成27年9月開催の母校文化祭で、いずみ会のPRを図った。
3. 平成28年2月に校舎屋上グラウンド側に全国大会出場(将棋、自転車競技、写真)を讃える横断幕を設置した。
4. 平成28年3月に「いずみ会入会式」を開催し、68期193名が入会した。
5. 卒業生全員に記念品を、皆勤賞受賞者16名に副賞を贈呈した。

第8. いずみ会創立70周年記念事業

70周年記念事業の一環として平成27年7月に校舎屋上の西武線側に校名看板を設置した。

第9. 人材バンク活動

1. 多彩な人材の発掘と登録を行い、母校英語教育や社会人講話に活用した。
2. いずみ会活性化のベースであるサークル活動へ、支援を行った。
3. 会員相互の交流を促進するための仕組みを検討

した。

第10. いずみ会の活性化

部活動支援の推進および会の活性化を図るため、部活動OB/OG会代表との意見交換会を開催した。

催した。

第11. 新役員改選準備

理事会が平成28年度改選の準備を行った。以上

平成28年度 いずみ会事業計画(案)

第1. 定時評議員会

平成28年6月4日(土)に定時評議員会を開催する。

第2. 理事会、監査会等の活動

1. 原則として理事会は毎月、監査会は年2回開催する。
2. 各期評議員の登録更新を年度末までに行う。

第3. 会報の発行、広報活動の充実

1. 会報を平成28年10月中に発行する。
2. ホームページのセキュリティ向上策を検討する。

第4. 総会の開催

平成28年10月29日(土)に開催を予定している。

第5. いずみ会の活性化への取組

1. 世代を超えた若手評議員などとの意見交換会若手評議員との意見交換会を定期的に開催するなど世代を超えた会員と交流する。
2. 部活動OB/OG会との意見交換会組織化されている会から要望を募り、優先度をつけて支援する。また、組織化されていない会に対しては名簿作成等の連絡網整備を支援する。
3. 若手同期会支援
最初の同期会開催に対しては名簿作成等の連絡網整備を支援する。

第6. 財政管理

会費、入会金、広告収入等の収入増加を図る。現在の収入および剰余金では、いずみ会財政は長期的には厳しい見通しであり、会費納入率向上

を図るため郵便振込以外の新しい払込方式の実現を図る。

第7. 会員情報の整備

1. 会員情報整備に向けて、各期会員情報部幹事を確認し積極的な活動を促す。
2. 会員情報データベースについては作業の効率化、データの保水性強化を図る為、株式会社サラトにバックアップを委託する。ただし、いずみ会でも同じ情報を保有し会員向けのサービスレベルは従来レベルを維持する。また、特定の事務局幹事への負担を軽減する。
3. 個人情報保護の観点から不要名簿の回収に努める。

4. 「高校69期の名簿」を作成、配布する。

第8. 母校及びPTAとの連携

1. 母校PTAと協力して幅広い母校支援を推進する。
2. 母校の発展に寄与するため社会人講話、英語教育、部活動支援等を行う。
3. 文化祭等様々な場を通して、在校生や保護者にいずみ会への理解を促していく。

第9. 人材バンク活動

1. 多彩な人材の発掘を行い、登録制度を活用して活躍の場を拡大する。
2. サークル活動等、会員相互交流の場を強化する。

第10. 将来に向けての運営システムの改革

収入の仕組等を再構築するためにワーキンググループをつくり検討していく。以上

◇ 評議員会出席者(敬称略) ◇

春日孟・堀尾慶治(中1期) 熊谷光恭・山岡竹三郎(高3期) 平山久雄・比嘉高(高4期) 青山喜彦・石田要久・大澤登(高5期) 谷谷正孝・片山隆・小熊坂満邦・二宮靖子・宇田川公子・岡崎美代子(高8期) 木暮京子・清水信・戸田俊雅・大軒史子(高9期) 長島慶子・野口悦子・高橋幸貴・田島寛・藤田肇・小川皓司・鈴木京子(高10期) 相川光夫・板橋昭寿(高12期) 丸山和郎・早川淳・高田勲・田中昇次・豊田志美・小松富貴子・国澤栄子・笠原孝之・高津幸一(高13期) 吉田登代子・飯沢武士・布施百合子・高木登茂子・國谷俊之・三原寿太郎・長谷正道・大車康夫・三森友直(高14期) 石川文武・村上広(高15期) 武藤千鶴子・橋元宏・大場修一(高16期) 中津隈健一・成田俊彦(高17期) 石田智秀・橋原猛夫・別所信子・酒井君枝・酒井陽三・住永憲治・豊田哲也・宮田健治・青木隆・安斉秀行(高18期) 田村明子・小山雅文・進藤幸子・佐久間優行・水野國雄(高19期) 荒井真理子・山口達夫・金子研一(高20期) 浜田光・守本純(高21期) 花澤亮司・平井秀明・島山由貴(高22期) 真柳仁・山川新(高24期) 石上敦子・福田由香(高25期) 宇野伸一(高27期) 清水由里・野島陽子(高28期) 田中宏尚(高29期) 小倉扶美子(高32期) 伊藤勲・小杉哲也(高40期) 植村直人(高50期) 寺島孝・橋本豊・小出薫・直井美喜子・岩崎誠・田邊夏樹(一般会員)

平成27年度 収支決算 (自平成27年4月1日～至平成28年3月31日)

【収入の部】				(単位円)
科 目	平成27年度予算	平成27年度実績(A)	予算過不足((A)-予算)	備 考
入会金	980,000	990,000	10,000	
会費	2,171,000	2,114,000	△ 57,000	
寄付金	1,300,000	1,050,000	△ 250,000	
総会参加費	900,000	835,000	△ 65,000	参加者285名
名簿関係収入	0	12,000	12,000	
広告収入	150,000	273,600	123,600	会報、ホームページ
雑収入	20,000	28,079	8,079	受取利息、カンパ金
合 計	5,521,000	5,302,679	△ 218,321	

【支出の部】				(単位円)
科 目	平成27年度予算	平成27年度実績(A)	予算残(予算-(A))	備 考
総会関連費	1,356,000	969,309	386,691	
役員・評議員会合費	370,000	302,841	67,159	
監査役会費	10,000	11,000	△ 1,000	
広報費	2,900,000	2,685,462	214,538	
会費関連費	280,000	248,311	31,689	
会員情報関連費	145,000	70,746	74,254	
母校連絡費	80,000	72,639	7,361	
会員活性費	170,000	68,307	101,693	
いずみ会室関連費	800,000	717,057	82,943	
70周年記念事業関連費	600,000	385,656	214,344	校名看板、他
雑費	10,000	11,798	△ 1,798	
予備費	400,000	0	400,000	
小 計	7,121,000	5,543,126	1,577,874	
母校支援費	700,000	476,487	223,513	
在校生教育支援	200,000	173,843	26,157	
卒業生記念品・啓動費	150,000	92,638	57,362	
部活動助成金	200,000	0	200,000	
予備費	150,000	210,006	△ 60,006	横断幕、クリアファイル
合 計	7,821,000	6,019,613	1,801,387	

【収支の部】		
項 目	平成27年度予算	平成27年度実績
当期収入	5,521,000	5,302,679
当期支出	7,821,000	6,019,613
当期収支残	△ 2,300,000	△ 716,934
前期繰越金	16,607,061	16,607,061
次期繰越金	14,307,061	15,890,127

平成28年度 予算案 (自平成28年4月1日～至平成29年3月31日)

【収入の部】				(単位円)
科 目	平成27年度実績(A)	平成28年度予算(B)	(B)-(A)	備 考
入会金	990,000	895,000	△ 95,000	
会費	2,114,000	2,123,000	9,000	
寄付金	1,050,000	950,000	△ 100,000	
総会参加費	835,000	450,000	△ 385,000	
名簿関係収入	12,000	310,000	298,000	
広告収入	273,600	150,000	△ 123,600	
雑収入	28,079	20,000	△ 8,079	受取利息、カンパ金
合 計	5,302,679	4,898,000	△ 404,679	

【支出の部】				(単位円)
科 目	平成27年度実績(A)	平成28年度予算(B)	(B)-(A)	備 考
総会関連費	969,309	630,000	△ 339,309	
役員・評議員会合費	302,841	325,000	22,159	
広報費	2,685,462	2,800,000	114,538	
会費関連費	248,311	260,000	11,689	
会員情報関連費	70,746	113,000	42,254	
母校連絡費	72,639	80,000	7,361	
会員活性費	68,307	135,000	66,693	
いずみ会室関連費	717,057	800,000	82,943	
70周年記念事業関連費	385,656	0	△ 385,656	
雑費	11,798	10,000	△ 1,798	
予備費	0	250,000	250,000	
小 計	5,543,126	5,403,000	△ 140,126	
母校支援費	476,487	400,000	△ 76,487	
在校生教育支援	173,843	200,000	26,157	
卒業生記念品・啓動費	92,638	100,000	7,362	
部活動助成金	0	50,000	50,000	
予備費	210,006	50,000	△ 160,006	
合 計	6,019,613	5,803,000	△ 216,613	

【収支の部】			
項 目	平成27年度実績(A)	平成28年度予算(B)	(B)-(A)
当期収入	5,302,679	4,898,000	△ 404,679
当期支出	6,019,613	5,803,000	△ 216,613
当期収支残	△ 716,934	△ 905,000	△ 188,066
前期繰越金	16,607,061	15,890,127	△ 716,934
次期繰越金	15,890,127	14,985,127	△ 905,000

貸借対照表 (平成28年3月31日現在)

(資 産)				(負債及び正味財産)			
科 目	2015/3/31現在	2016/3/31現在	増 減	科 目	2015/3/31現在	2016/3/31現在	増 減
定期預金	25,000,000	25,000,000	0	前受入会金	980,000	885,000	△ 95,000
普通預金	6,010,011	2,726,285	△ 3,283,726	前受会費	11,436,000	10,722,000	△ 714,000
振替口座	147,421	519,011	371,590	名簿積立金	2,266,008	779,188	△ 1,486,820
現 金	131,637	31,019	△ 100,618	負債合計	14,682,008	12,386,188	△ 2,295,820
				次期繰越金	16,607,061	16,607,061	0
				当期収支残		△ 716,934	△ 716,934
				正味財産計	16,607,061	15,890,127	△ 716,934
合 計	31,289,069	28,276,315	△ 3,012,754	合 計	31,289,069	28,276,315	△ 3,012,754

名簿購入ご案内

本年2月に発行されました「いずみ会70周年記念名簿」、名簿部分はもちろんのこと先生方の近況や思い出、母校・いずみ会の歴史、70周年記念懇親会の様子など読み応えのある一冊です。予約販売でしたが、その機会を逸してご購入できなかった方、新たに購入ご希望の方は同封の振込用紙に申込欄がございますのでこの機会に是非!!ご購入下さい。

いずみ会70周年記念総会・懇親会

昨年10月24日、練馬区立区民・産業プラザ(ココネリホール)にて、約300名が集ってのいずみ会70周年の記念総会・懇親会が行われました。総会の中で母校より旧校章を記した赤色の旧校旗がいずみ会へ贈呈されました。応援団OBによるエールで懇親会が始まり、26期の桂扇生さんの落語、28期生トリオの生演奏なども織り交ぜて懐かしい懇談の時間を過ごしました。その模様を10面・11面にダイジェストで掲載しています。お出ましになれなかった方々、懐かしい顔、見つけてください。ご参加いただいた方、集いの様子を思い出して下さい。

附属中学校1期生を輩出して

校長
柴田 誠



5月の晴れ間、新校舎になって3回目の体育祭を人工芝グラウンドで開催することができました。直前の嵐で日程変更したにもかかわらず、いずみ会の役員の皆様方や保護者の皆様が1,000人近くご来校くださいましたこと、心から感謝いたします。日頃から、本校の生徒を後輩として大切に育てていた

だき、ありがとうございます。

昨年度いずみ会におかれましては、70周年の節目の年として盛大に周年行事を実施されました。その折に、本校屋上に立派な校名看板を設置してくださり、また全教職員の集合写真を撮影し全員に配付してくださいました。大変ありがたく頂戴いたしました。他の学校関係者から「屋上に見やすい看板が付いたね。」と褒められるたびに「本校にはいずみ会という同窓会があってね…」とつつい自慢話をしてしまいます。

校長として着任3年目に入り、今春中学1期生を含む、高校68期生を無事卒業させました。卒業生は最後まで第1志望を大切に頑張ってくれました。難関の国公立大・私立大への進学者が徐々に増え始めております。そのデータを検証しながら、今後の進学指導体制・指導方法につなげて参ります。

今年度本校は、英語教育推進校(英語の4技能向上)、学校経営支援センター特別指定校(経営計画の推進)、外部機関による進学指導コンサルティング実施校(数学の組織的教科指導力向上)の指定を受けました。生徒たちの高い資質・能力を十分に引き出し高めるため、学校全体が新たな動きを始めました。今後もさらに、いずみ会とも連携・連帯を深め生徒たちを逞しい若者に育成すべく尽力したいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

活躍しています。

将棋・自転車競技・写真それぞれ全国大会に進出、強豪の胸を借りました。また、ラグビー部は関東高等学校合同チームによる大会に「オール東京」として2名が参加、優勝し、第12回全国大会へ出場を決めました。更なる前進を！健闘を祈ります。



文化祭

石鹸と紙ナプキンの模様を切り抜いた花柄などを利用して簡単に作れる石鹸デコパージュ。様々な模様に彩られ、ほのかに香る石鹸は「敬老の日におばあちゃんにプレゼントします」と女子に大人気。囲碁・将棋・オセロコーナーは老若問わず真剣な対戦模様が… 今年には盤を増やそうかなという盛況ぶり。大泉の歴史を語る写真や大泉新聞、卒業アルバムに両親の姿を確認したり、あの頃は！と古い新聞を丁寧にそつとめくり記事を探したり…。賑わいを見せる文化祭いずみ会のブースでした。



体育祭

天気予報と相談しながら二日遅れの晴天の5月13日に体育祭が開催されました。

全員の大玉ころがしからスタート。クラス全員で走るリレーは各クラスの作戦も様々に、お母さんたちの応援も熱が入ります。中・高一緒の競技では、体格的にバランスが合わなくても、お互いに気遣いながら力合せる姿も見られます。生徒も先生も保護者もみんなで楽しんだ体育祭でした。自分たちの時とはまた違った体育祭。一度応援に行くのもフレッシュな気持ちになれていいものです！！来年は是非どうぞ。



高校野球西東京大会

全員野球部員で頑張りました！

部員数の減少にも拘らず元気に練習をつみ重ねてきた野球部。この大会の後しばらくは自力ではチームが成り立たない…という危機にもめげず野球部員全員で都立杉並高校と戦いました。帰り道に出会った部員たちからの、「助っ人を頼んで一生懸命にやってみます」と力強い言葉が嬉しかった。来年も応援行くからね！！



初めまして

都立大泉高校副校長
松永 今日子

はじめまして。今年度、都立深沢高校から大泉高校に副校長として着任いたしました、松永今日子と申します。前任の北江繁治副校長が戸山高校へ異動され、その後任の副校長となります。

初めて学校を訪れた時に見かけた生徒は勉強に部活動に行事にと一生懸命取り組んでいました。また、先生方も熱心に生徒を指導されています。中高1期生も卒業した今年以降、これまで以上に都民から期待をされる学校になっていくものと思います。

正直申し上げますと、このような高校の副校長を命ぜられたという責任の重大さに身の引き締まる思いがしております。同時に、私に務まるのだろうかという不安も抱えております。しかしながら、これまで培った経験を活かし、子供たちの教育に全力をつくして参る所存です。いろいろな場面で皆様方のお力添えをいただければと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

教職員異動 (内は転出先、前任校)

【転出】

副校長	北江 繁治	(戸山高校)
中学校	高橋 知子	(桜修館中等教育学校・国語)
	稲葉 茂子	(退職・社会)
	鶴田 典子	(北園高校・英語)
高 校	佐藤 譲	(深川高校・保健体育)
	雨海 博英	(橘高校・国語)
	竹花 康夫	(駒場高校・物理)
	鈴木 弘幸	(文京高校・化学)
	磯村 晴彦	(目黒高校・生物)
	坪坂 成生	(大山高校(定)・英語)
	新堀 陽子	(東村山高校・保健体育)
	内田 志づ子	(退職・進路)
経営企画室	福田 和廣	(城東特別支援)
	中村 年宏	(練馬工業)
	桑原 和夫	(八王子恩方第一小)
	黒澤 和夫	(退職)

【転入】

副校長	松永 今日子	(深沢高校)
中学校	玉腰 朱里	(蒲田高校・国語)
	安田 秀幸	(大田区立石川台中・社会)
	小川 登子	(白鷗高校附属中・英語)
高 校	一瀬 貴史	(鷺宮高校・保健体育)
	神 尚子	(国分寺高校・国語)
	塚本 慎史	(小金井北高・物理)
	堀 みどり	(保谷高校・化学)
	七森 敦行	(科学技術高校・生物)
	斉藤 幸子	(足立区立伊興中・英語)
	長野 端央	(田柄高校・保健体育)
経営企画室	志田 徹也	(経営企画室長・大泉高校)
	今西 研二	(東部支援センター)
	阿部 実夢	(新規採用)

平成28年度の主な学校行事

4月7日	入学式
5月11日	体育祭
9月10・11日	文化祭
11月8～11日	高校修学旅行
11月9～11日	中学修学旅行
3月10日	いずみ会入会式
3月11日	高校卒業式
3月17日	中学卒業式

入会式

3月10日にいずみ会入会式が行われ、新卒業生197名が入会しました。大串副会長(当時)から、「大泉」を通じた人と人との縁、絆が同窓会です。年齢に関係なく、若い方たちも社会と同様に積極的に活躍・参加してください。歓迎いたします!との挨拶がありました。



◇新評議員◇

1組	中澤 栄裕さん・林 裕人さん
2組	寺口 立彩さん・八木 千優さん
3組	小林 慎さん・中澤 萌さん
4組	鈴木 萌さん・並木 誓哉さん
5組	笠原 慶亮さん・勝田 梨紗さん

進路状況

【国公立大学】

東北3、茨城1、筑波2、埼玉2、お茶の水1、東京1、東京工業2、東京外国語2、東京学芸3、東京農工1、信州1、金沢1、京都2、首都大学東京12

【私立大学】

早稲田32、慶応義塾8、上智9、東京理科25、青山学院10、学習院13、法政33、中央21、明治27、立教33、日本41、東洋23、駒澤5、専修4、北里5、杏林6、国際基督2、芝浦工業13、昭和女子5、成蹊13、成城8、津田塾1、東京女子7、東京電機5、東京農業5、獨協4、日本歯科2、日本女子5、日本薬科1、武蔵6、東京都市1、明治学院2、明治薬科2、立命館4

【大学校】

防衛1、国立看護1

2015年度 母校キャリア教育

今年も母校からキャリア教育の講師派遣の依頼を受け、下記の方々にそれぞれ附属中学校職業ワークショップ、高校の社会人講話・中学2年生英語夏季特別講座を受け持っていただきました。同窓生の先輩方から聞く様々な話は、中・高校生には未知の分野である可能性も高く、気づきの原点にもなると思われます。これから社会へはばたいていく後輩たちに、手の届く日々の生活・見方、考え方へのアドバイスが講師の方々から届けられ、また後輩たちはそれらを真摯に受け止めてくれたように思います。講師の一言が、将来への忘れられない一言になってとどまってくれれば本望です。

附属中学校職業講話

中学3年生対象：2016.01.30実施

《講話一覧》

- 築根 照英さん(高21期)「大泉を囲む樹木」
- 平井 秀明さん(高22期)「人は誰でもデザイナー」
- 松本 猛さん(高22期)「絵本の世界」
- 會田 幸子さん(高25期)「消防士の仕事」
- 二上 貴夫さん(高25期)
「ピタゴラスの三角形とロボット飛行船」
- 昇 多加代さん(高32期)「ソーシャルワーカーとは」



《生徒感想より》

★樹木医という仕事を初めて知った。街路樹や公園の木などがしっかりと調査されて安全を管理してあるということを知ってとても驚いた。また大泉高校には100種、2000～3000本の木が植えられていて、将来的に緑あふれるとても環境の良い学校なのだとわかった。★街路樹の役割は温暖化の防止や緑陰効果だけではなく、交通安全や防火の役割もあると聞いて驚きました。樹が腐ってしまうこと以外にも通行障害や倒木事故など街路樹にも欠点があることも学びました。普段周りにどんな樹が、どれくらい、何のために植えられているかなど考えたこともありませんでしたが、これからは気を付けて見てみたいと思います。★デザイン・デザイナーは自分たちの日常にあるという事がおもしろいなあと思った。そして偶然の出会いの確率の低さに驚いたので、そういう一つ一つの出会いを大切にしたいと思う。また、自

分の中で一位のものをつくるのが大切とおっしやっていたことが心に残っている。今は自分はそのような存在のものを見つけることが出来ていないが、自分たちが生まれてきたことに感謝し、偶然と必然の出会いを大切にしていきたい。★絵本は子供に伝えたい事を感情や心情を織り交ぜながら伝えることのできる奥の深い美術であることがわかった。子供の頃に絶大な影響を与える絵本の一冊にはたくさんの知識や情報が詰まっているとは知らなかった。★小さいころから絵本を読んでいて、今でもまだその本があるので強く物語の何かがあるのだらうと思いました。絵本に携わる仕事だけでも多くあり、自らが最終的な目標としている所への詰め寄り方も様々だと知りました。将来を考えるよい機会になったと思います。★消防士と言えば火災を消火するイメージが強かったですが、それ以外にも多くの仕事があることがわかりました。家の中など身近な場所でも消防士が活動していることを知って、驚きました。また、119番通報が地方の指令センターへ通報されるとわかったので、いざという時はそれを踏まえて通報するようにしたいと思いました。★先生があきらめずに初めての道を切り開いたことで、後輩の方々にも道をつくることになったと思います。沢山の人に出会うことがやりがいとおっしやっていました。男性とか女性とかに関わらず、自分に合った道を進もうと思いました。★ピタゴラスの定理(三平方の定理)は意外な使い方があるのだなと思った。まさか飛行船にピタゴラスの定理を使うとは思っていなかった。僕は数学の中ではピタゴラスの定理と因数分解は苦手な分野なのだが、今回のように使うことが出来るかもしれないのでいつか克服したい。そうすることで、今までまったく見えていなかったことや物が見えるようになるかもしれない。今回の講演で三つの大切なこと。①自分が一番興味を持ったもの、好きなことが自分の未来の職業に繋がる。②勉強したことは何かしらの使い方がある。③仲間、先生は宝物。いつまでも仲良くしよう。これらの事を忘れないようにしようと思う。★そもそもソーシャルワーカーという言葉を目にしたのがこの講座が初めてで、どのような職業なのか最初はわかりませんでした。福祉などを通じて人と関わり、サポートしていくお仕事だと知ることが出来ました。普段、祖父母が介護、福祉サービスを利用しているので、意外と身近なところでお世話になっていたのだなと感じました。★一人一人を相手に支援を行っていくのは地道だけれど、こつこつと続けて行く事で何十人、何百人もの人の力になれると思うと素晴らしいお仕事だと興味を持ちました。人の話を聞くだけではなく、「聞き入れる」というのは難しいだろうと思います。人の気持ちに寄り添って、それでも何人かの支援を同時に対応していくことも今の私にはできる気がしませんが、一度体験してみたいです。

高校1・2年生社会人講話

2016.03.16実施

《講話一覧》

- 山田 武久さん(高21期)
「旅行産業論—旅行会社の社会的役割」
- 木村了さん(高25期)「職域とこれまでの経験」
- 林 大介さん(高46期)
「外資系企業人事部長が考える学生生活の過ごし方」
- 日江井光輝さん(高35期)「理系出身者の営業職と転職」
- 堀池 達さん(高24期)「世界の二輪車と二輪車開発」
- 関屋 収さん(高20期)
「グローバルに生きる・工業を磨いて世界に商品を！
自分を磨いて世界で活躍を！」
- 山下 道雄さん(高20期)
「医薬品としての微生物・第二次代謝物の探究」
- 築根 照英さん(高21期)「樹木医の仕事に就いて」
- 沼田 洋一さん(高35期)「アイデアの作り方」
- 宇多 正行さん(高25期)
「弁護士はどのようなことをしている？」



キャリア教育を終えて

『“To know something about everything To know about everything about something”』

木村 了(高25期)

「今年のキャリア講座は何を話そう？人生に役立つ話とは？」と考えた時、ふと浮かんできたのが私の高校の担任の話だった。昭和45年入学、その時の担任が英語の先生。全くそりが合わず現代語なら「サイアク〜！」しかもあろうことか3年も同教師「超超サイアク〜」。最初から最後まで怒られっぱなし、親まで呼ばれ「こんな授業態度では大学受験は絶望的、ろくな人間にならない！」とまで。「私だって先生の事大っ嫌い！」それでも何とかこの先生と別れられる卒業式の日…彼は黒板に「To know something about everything To know everything about something」と書き「今までの君たちは広く浅く学んできた、これからは専門について深く学んで欲しい」と。なんとなく1回だけ心に残った先生の詞。この言葉が技術屋として今の私を育ててくれた。先生は卒業後間もなくお亡くなりになり、恩返しも出来ず仕舞…なのでキャリア講座では亡き恩師の言葉を生徒たちに伝えた。

『大泉高校キャリア教育社会人講話を担当して』

林 大介(高46期)

現役の高校生である優秀な後輩たちを前に、何が伝えられる

だろうかと考えながら母校キャリア教育で話をさせて頂いた。企業で人事を担当している中で、普段大学生や、大学院生にメッセージとして伝えることを中心に、就職活動や将来のキャリアをどう考え、日ごろ何を目的にした毎日の高校生活を過ごしたらいいかというヒントや気づきが得られるような概念的な話をした。出来るだけ早い段階でキャリアについて考えるという点で、何らかの刺激になれば幸いだ。自分自身まだ気持ちは若いつもりでも、高校卒業以来20年以上が経過し、毎年出会う現役高校生との年齢差は開くばかり。最初に担当した頃は、自分の経験をもとに「こうあるべきだ」的な話をした記憶があるが、時代も、社会環境も大きく変わっている中で、「現在の」都立高校生がおかれた環境を出来るだけイメージして臨んだ今年の講義は、例年以上に彼らに伝わったことが感想文を読んで伝わって嬉しく感じた。将来を見据える真剣な眼差しの後輩に直接話をさせて頂いたことは自分自身にも大変刺激になった。社会人講話は各界で活躍している様々な大泉生が後輩と繋がる素晴らしい機会だ。今度自分自身も諸先輩の話を聴ける機会があればいいと思っている。

『社会人講話』

沼田 洋一(高35期)

3月16日に高校1・2年生を対象とした社会人講話に参加してきました。66歳から40歳のOBが集まり、クラス毎に授業を受け持ちます。講義内容は、それぞれの講師の方の職業を反映したのになっています。私の講義内容は、会社の新人研修に使っているものをベースにしていますが、ADKという会社の紹介、広告会社の仕事に就いて簡単に触れたうえで、「アイデアの作り方」にフォーカスを当てた内容にしました。アイデアは「既存の要素の組み合わせ」であり、複数の要素の共通点を見つけ出して組み合わせるもの。これは広告業に限らず、どのようなしごとであっても利用できます。座学だけでなく「ドラえもんの秘密道具を作る」というワークショップで実際に組み合わせる体験をして盛りました。最後に、アイデアが組み合わせであるという話の関連で、スティーブ・ジョブスのスタンフォード大学でのスピーチ「Connecting the Dots」を事例に、これからの人生も過去の経験と経験の組み合わせであるという話をして終わりました。生徒からは思ったよりも楽しかった、広告に興味を持ったという感想をもらいました。どこかでこの「点」が生徒たちの人生で繋がってくれるととても嬉しいです。

《生徒感想より》

★今から可能性を否定したり、潰したりすることなく、様々なことに挑戦し、触れて、多くの人と関わっていききたい。★罪を犯したからと言って人権やそこに至るまでの過程が無視されるべきではない。その人の一生が決まってしまうからこそ裁判には裏側まできっちりとする必要がある。ごく当たり前のことだが、そこに気が付かなかった。どのような道に進むにせよ広い視点で物事を見られるようにしていきたい。★目的の達成だけに意味があるのではなく、達成までの過程のうちにも学び得るものがたくさんあることを学んだ。アイデアの基盤となるものは咀嚼され、自分のものとなった既存の要素(知識)であり、積み重ねた経験であることが分かり、自分もたくさんのことに挑戦し、最大限吸収し、自分の中の要素を増やしたい。★進路について考える時一つ一つの物事に関わっているものだけを見るのではなく、様々な視点から学んで行く事も重要なのだと感じた。一見全く関係がないように見えても実は全て繋がっているんだ。「黙るな、腐るな、努

力と忍耐があれば夢は叶う」という言葉を頂いた。私の心に強く響き、何事にもあきらめず立ち向かっていこうと決心ができた。

★「シンバルをならせ!」という言葉は「少ない言葉でも人々に多くの事を与えられる言葉をかけられるようになれ」という励ましの言葉として捉えました。★世界に通ずる三つの価値観。尊敬、どんな人に対しても大切に思う事。寛容、差別や偏見をなくしてお互いを理解し許しあう事。激励、辛い時、苦しい時にこそお互い励まし合う事。この価値観はどんな場面においても重要なことだと思ふ。人としてそういうことを身に付けられるようになりたい。★転職という選択は余り良いイメージを持っていなかったが、やりたいことをやる、一生の時間を有効に使うという事を考えることは大切だと思った。「こうなりたい」ためには何をすればよいか、じゃあ今日は何をすればよいか、と考えて行動をしていこうと思う。「まだできない、全然届かない」と絶望せずに、可能性はたくさんあるのだし、目先の事にとらわれず物事に取り組みたい。★やりたいことをするために転職する決断力と、ちゃんと結果を出していることがすごい。フレミングの法則に置き換えた、やりたいこと、自由な時間、成果のどれに重きを置く、どの方向を向いているのかを知るべき。理系でも文系でもやりたいことがあるのなら、縛られずに進むというそういう力を持ちたい。★人間がどこか自分の行ったことのない土地へ行きたいという興味は不変なのかもしれない。このような興味のお陰で人間の活動範囲が広がったと思う。そのように考えると旅行は自分にとってもその他いろいろな面で見ても可能性を広げる素晴らしいものだった。★「和顔愛語」と「changes are the only constant in the universe」には仕事に対する心構えが感じられました。特定の仕事に限った話ではなくどんな仕事に就いたとしてもいえる言葉だと思います。これらの言葉を忘れずにあらゆる物事に熱心に取り組みたいと思いました。★私は数学が余り得意ではないのでどうせ将来は使わないだろうと思うことも多かったですが、自分の将来をいろんな方向から見ればいろいろな物なんてないんだという事に気が付きました。また「To know something about everything To know everything about something」という言葉を聞いて、高校と大学の差がしっかり理解できました。私も好きなことをやる為には、何を深く学んでいけばいいのか考えて頑張りたい。★なりたい職業にもいろいろな分野からアプローチできると聞いて、やりたい分野と違っていたため諦めていた職業も少し考え直して可能性を探していこうと思いました。★一つの仕事には今まで自分が考える以上にたくさんの人が関わっているのだと感じました。それだけたくさんの人と関わるのだからコミュニケーション能力の大切さを感じ、学生生活を通じてそれらを身に付けていきたいと思いました。★将来自分が何をしたいのか、何になりたいのか、まあ自分がどんな人なのかについて考えるヒントになるものが学生生活の中(文化祭や部活動など)にたくさん隠されていることや、そのようなことを考える具体的な方法を学びました。★なりたい自分をイメージしない限りなりたい自分にはなれない。という言葉を受けてなりたい自分を探し続けようと思いました。また高校にはいろんな人がいるから多くの人とコミュニケーションを取るべきだという話も興味がありました。確かにいろんな価値観を持った人がいるので話してみると面白いかもしれない。少しずつ自分自身の事も考えていきたい。★道が開くのではなく、自分で道を開くものだという言葉が心に残りました。自分で見つけて行動しなければいけないと思います。★大きな仕事は一人ではできない。周囲の人を巻き込む力を身に付けようという言葉は心に響きました。自ら考え、他人とのか

わりも大切にして自分の道は自分で明るくしていこうと思います。★同じ会社でも商品のカテゴリーによって開発現場が違ふという会社の仕組みや、進路を決める場合に「この仕事のこのカテゴリーが好きだからここに就職しよう」という自分のやりたいことをより鮮明に詳細に考えておくことの大切さを学びました。★転職をどのようにとらえるか、チャンスととらえるか失敗ととらえるか、という言葉が印象に残った。企業で働くには前向きな姿勢が大切とのこと、学生時代に基礎的な力を身に付けることにより自分に自信をつけていきたい。また、他の人に誇れるような熱量を持った「好きなこと」があるわけではないのでいろいろなことに興味を持って好きなことを増やしていきたい。それが誰にも負けない武器に繋がって欲しい。

中学2年生夏季英語特別講座

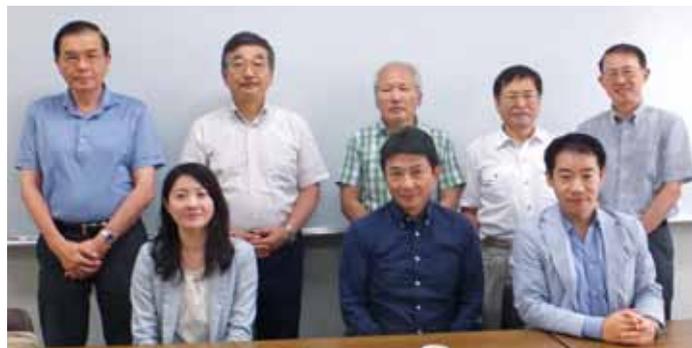


今年は少し爽やかな気候の中で、中学2年生の夏季英語特別講座が開講されました。

秋のブリティッシュビレッジ合宿へ備えて、講師の方々の貴重な経験を活かしたコミュニケーションの取り方、文化の違いなどを学び、今、知っている単語を使ってミニミニコミュニケーション体験をしました。この経験は英語に対するハードルを少しずつ下げることに役立っていると思いますし、実際にそのように受け止めていただいています。

本年度の講師の方々です。

竹下光彦さん(高15期)、石田智秀さん(高18期)、井上幸夫さん(高20期)、福井陽一さん(高20期)、山田武久さん(高21期)、曾我里美さん(高21期)、守本純さん(高21期)、福地正さん(高21期)、荒賀康徳さん(高27期)、小林聡子さん(高28期)、北村隆憲さん(高28期)、林大介さん(高46期)、染木藍さん(高62期)



「大泉と私」 いずみ会70周年を記念して

本年2月に発行されました「いずみ会70周年記念名簿」にご投稿いただきました恩師の思い出など一部をご紹介します。ほかにもたくさんの先生が寄稿されておりますので是非記念名簿を購入されてお読みいただければと思います。

【国語科】 清水 昭守 先生

平成17年の3月に42年間の教職を離れて、1年間ほど私立高校の講師をしておりましたが、現在は「お仕事」は全くしていません。

当初は、退職後は晴耕雨読の生活を夢見ておりましたが、現役の教員時代に生徒諸君と人間の喜怒哀楽を共有して来た生活から解放されてみると「生への貪欲さ」が失われていく日々「一抹の寂しさ」を感じ出しております。

「物忘れ」「滑舌の鈍化」にいささか「焦り」を感じて、再び、近所のシニア世代の方々と川柳・時事放談・趣味の交流等を通して、積極的に人と交流し、対話しながら、「老い」（現在75歳）に抗う生活を心掛けております。

昭和47年に「大泉高校」に赴任したときは31歳でしたから、70年安保の世相に高校生も揉まれ、学園封鎖こそ無かったものの、大泉生の若さと情熱に、私自身も圧倒されつつ奔放な勢いに対抗して夢中で生活しておりました。

富浦での水泳訓練・体育祭の応援とマスコット・文化祭の演劇や各種音楽の演奏・合唱祭と…いつ、勉強するのか？と教師らしい心配もせず、17年も在籍してしまいました。

その間、4回の卒業生を送り出し、どの学年も思い出深い学年でしたが、27期の諸君とはいまだに交流があります。また、31期の諸君が私の長女の誕生を祝ってくれて、大島のキャンプファイヤーで胴上げしてくれたことなど、思い出は尽きません。教員生活で最も永く在籍してしまったのも、居心地がよく、先生方も、実に人間的に熱血漢溢れる方々ばかりだったからと思います。

【国語科】 北上 俊人 先生

嘱託教員として母校に赴任してから、ほぼ毎年、夏の高校野球の都予選を観戦した。印象に残る試合のその1は、3本の連続ホームランによる逆転勝利。あんな華麗なショーを見たことは空前にして絶後。

その2は、ノーヒットノーラン。コールドゲームの途中打ち切りの試合で結果的にそうなったのではなく、9回を一人の投手が投げきっての実現は、見るものを興奮させずにはおかなかった。（この試合の相手は、以前私が勤務していた学校で、その無念さを思わずにはいられなかったが。）女子生徒たちが、男子生徒と同じ振り付け、同じ声量で男性的なパフォーマンスを繰り広げる応援団は、大泉高校の伝統の見事な継承である。毎年、相手校を瞠目させている。

【国語科】 中田 民雄 先生

「いずみ会」の担当の方から「思い出」をと求められて、直ぐ思い出す情景がある。場所は大泉ではない。石神井公園である。卒業学年のとき、彼がしみじみ語ってくれた。

彼にとって中学生生活はあまり芳しいものではなかった。それだけに、大泉への入学が決まった時は、天にも昇る思い。大泉には、

「自由」が、それまで無かった品のいい明るい自由がある、と少年の純な直感捉えていた。

入学までの春休み、彼はひとり、石神井公園を走りまわった。喜びの爆発。そしてやはり、期待どおりの3年間であったと、つくづくと懐したのだ。

あの石神井公園の歴史の一頁には、その時の走りに走る、いじらしい彼の姿が、哀れにも濃く深く刻まれている筈だ。

NHKの名アナウンサーだった鈴木健二さんは、病気に倒れ、死を覚悟したとき—58年と半年だけ生きたことになるわけか。それにしても、高校3年間を除いては、ひどくつまらない人生だったなあ、と思われたとか。

大泉卒業生も同感する筈とまでは強弁しないが、それに近い可能性は十分あると思っている。

人生は片道切符、「青春は未来に生き、老人は回想に生きる」という。大泉生が老人になったとき、あの大泉時代が鮮やかに光彩を放って、切に懐かしまれることを、いま老い真っ盛りの小生は信じて疑わない。

さまざまな困難にも出会う人生の旅路、心弱りするときもあまたあるだろう。

その時は、呪文のように唱えてみてくれ。

“桜と泉の青春

さくらと いずみの せい しゅん

さ・い・せ・い！ 再生！！”

【国語科】 中村 格 先生

「借りた学帽で修学旅行」

昭和37年の秋、私が赴任した当時の校長は清水貞助という気骨のある方でしたが、翌年3月の修学旅行に際して、男子は学帽着用と厳命されました。ところが出発の朝、品川駅に集合した7クラス350名の中に、それを忘れて無帽で来た生徒が二人いたのです。

修学旅行だし、大目に見てやりたいところですが、引率責任者である校長の厳命を無視するわけにはいきません。そうこうしているうちに発車時間は迫り、やむなく品川駅に残して…と、担任同士苦渋の決断を迫られていた矢先、学帽が二つ出てきて、万事OK。かろうじて「日の出号」（修学旅行専用列車）発車に間に合いました。

ところが、学帽詮索？で走り回っていた班長のSがいない。乗り遅れたらしい。が、連絡のとりようもない。（携帯はまだなかった）。結局、宿泊先の旅館で待つほかあるまいと諦めていたところ、3時間も経っていたでしょうか、突然、列車内にわっと歓声が上がった。彼が現れたのです。

一瞬、私は狐につままれた感でしたが、なんのことはない。彼は乗り遅れたとするや、すぐ後発の特急列車（新幹線もまだなかった）を探し、浜松駅で「日の出号」に追いつき、乗車してきたのです。汗を拭きながら。

それにしても、忘れた学帽が二つ、あの短時間のうちに、どうして出てきたのか。自宅へ取りに帰る時間は到底なかったはずな



いずみ会70周年



何期だ



年記念懇親会



ろう?

のに…。これは後で聞いた話ですが、Sはもう一人の班長と一緒に、品川駅を通る高校生に相手構わず掴まえては「帽子を貸してくれないか」と頼み、やっと二つ借りることができた。その一つには白線がついていたので、大急ぎで女子に取ってもらい(大泉の学帽には白線がなかった)、帽章の部分は隠して校長先生にお見せし、許可を得たのだそうです。

おそらく校長先生の慧眼はこれを見抜いておられたのでしょうが、幸い、手に取って改めるような野暮なことはなさなかった…。騙した生徒も生徒だが、黙って騙された校長も太っ腹だったのです。もちろん、借りた学帽は、後日、ちゃんと持ち主に返したそうです。

仲間を落伍させまいと走り回った班長Sの親身な友情、咄嗟の機転、素早い行動に、新任33歳の私は、負うた子に教えられる思いをしました。

あれから50有余年、今でも鮮明に浮かぶ懐かしい思い出です。

[数学科] 田上 正 先生

大泉に赴任したのは五十年前になります。当時の先生、卒業生をなつかしく思い出す年令になってしまいました。記憶の底には富浦の海、堤先生、春の八重桜、秋のいちよう、落葉はき、学校のまわりに“へい”がつくられた。

うれしいのは同期会で卒業生にあうこと。かなしいのは亡くなった卒業生。

近況は足が弱って来たので週に2回位水泳をし、数学とギリシャ語を勉強していること。数学でよくでてくる、 Σ 、 Π を読みたかった。

[保健体育科] 増子 良太 先生

現在、東京都の大島の学校に異動して2年目を迎えています。大島の自然は豊かです。

さて、大泉高校は私にとっては初任の学校でした。本当に多くの方々に支えていただき、教員として大きく成長することができました。そこで過ごした5年間で一番の思い出となっているのは、野球部の監督をさせていただいたことです。短い期間ではありましたが、未熟な私を選手たちが支えてくれて、夏の西東京大会ベスト16のチーム監督にしてくれました。私の未熟さで、力のあった選手たちと甲子園に行けなかった悔しさが今でも心に残っています。現在、その当時の悔しさをバネに8月より監督として大島海洋国際高校野球部の指導をしています。大泉での経験を活かし、いつか指導者として甲子園の地に立ちます！

[英語科] 荻野 治雄 先生

平成5年3月、駒場にある都立国際高等学校を最後に、公立高校を定年退職。4月から、十条にある東京家政大学の教授になりました。15年3月まで勤めましたが、そのうち8年間は大学の授業だけではなく附属中学校・高等学校の校長を兼務しましたので、多忙を極める日々でした。しかし、公立・私立の別なく、すばらしい生徒たちに恵まれたことは、私にとって誠に幸せでした。

大泉では、学園紛争の時代に、今は亡き石井秀先生とともに、元気のよい生徒諸君と、夜半に至るまで、長時間、侃侃諤諤の議論を重ねたころの記憶が、今も、脳裏に深く刻まれています。それから、大泉で初の大島HR合宿。生徒たちは一致団結してこ

の合宿を成功させた。見事の一言でした。

大泉在任中のほぼ全期間、山岳部の顧問をしていました。北岳山頂で、折角で上がったばかりのズッペの鍋を誰かがひっくり返したときの、皆の残念そうな表情は今も覚えています。また、我が山岳部が南アルプスを縦走中に、松本深志高の生徒たちが独標付近のガレ場で落雷のため亡くなった1942年という年も忘れることができず。私は、大泉での18年間の教員生活が、私を作ったのだと思う。今も、生徒であった皆さんに感謝しています。

現在は、住所のある日野市の小学校の運営協議会の議長を仰せつかり、委員の皆さんと、地域の学校支援のあり方等の話し合いを重ねています。また、南青山にあるYFU日本国際交流財団の理事として、世界の若者たちの交流の手助けもしています。

[理科] 増田 英夫 先生

校門からの満開の桜並木、体育館では統制のとれた応援団の校友の歌に迎えられた着任式。伝統の重みを感じ、身が引き締まる感じがしたのを思い起こします。1987年、私が39歳の年でした。

大泉ならではの学年行事にHR合宿がありました。広島と沖縄に担任として引率しました。メインは夕食後のクラス討論会。2時間の討論がうまく盛り上がるか心配でしたが、それは杞憂でした。白熱した議論に、2時間が瞬間に過ぎたのに感心しました。

教科は物理を担当しました。2学年の物理は全員必修で、力学台車を用いての運動の法則を導くグループ実験をやりました。良いデータを得るには手間と工夫が必要だったので、この実験期間中は放課後の物理室は様々なクラスが一緒になり大賑わいでした。

自由な雰囲気の中にも、やるべきことは真剣に取り組む気風のある大泉高校に12年間在籍できたのは教員として幸せでした。

現在、67歳になります。完全にリタイアし、好きなテニスで全国のベテランテニス大会に出場し、飛び回っています。

[理科] 岩本 伸一 先生

「自分探しの旅」なんてないんだよ、と在籍中には何回か話したけど覚えていますか。落とした財布なら、必ずどこかにあるから探すことは出来ます。でも未来の自分はどこにも存在していない。だから「本当の自分」なんてなお。未来がどうなるかは、今のあなたがどうするか、例えば右手を挙げるか、左手を挙げるかで決まってくる、という意味です。あの当時は高校生だった君たちに猛烈に反発されましたが、年月を経た今では、卒業生の皆さん、どうお考えですか。

[芸術科] 佐伯 香 先生

1962年(昭和37年)音楽科高橋智子先生の後任として赴任しました。桜並木に迎えられ、また、橋本先生から校歌の由来をお聞きして、感慨も一入に！

文化祭では、OBの方も一生懸命お手伝いして下さり、豪華にオペラを上演。東京都高校合唱祭では第3学区全校でとりくんだ大曲の指揮と伴奏を担い大いに活躍。音楽室の床が抜けそうだと、入場制限した人気の軽音楽祭。どんなに暑くても、窓を閉めて練習に励む熱心な吹奏楽部。等々、貴重な思い出は溢れるばかりです。

会員の集い

高10期

中山雄一先生の米寿を祝う会

大谷 義彦

3年D組卒業の「サンデー会」は、隔年に開催しています。その中間には、10期の同期会があるのです。本年はわれらが担任の中山雄一先生が米寿を迎えられたので、標題の会を5月25日(水)14時～17時パセラリゾーツ池袋店で開催しました。体育担当の永嶋正俊先生にもご出席頂きました。3Dの出席は14名でしたが、おめでたい会と聞きつけた3D以外の8名が加わり、合計24名での楽しい会となりました。

開会の辞を田島寛君、中山先生への記念の花束を柴久美子さんからお渡しし、早速先生からお話を伺い、高橋幸貫君の乾杯と続き、しばしの歓談となりました。続いて永嶋先生からもお話を伺い、全員の近況報告、思い出話を聞くうちに、予定の時間も瞬く間に過ぎてしまいました。最後に中山先生の指揮で校歌を全員で歌い、小菅茂君の閉会の辞でお開きとなりました。

中山先生からは米寿記念の図書カードを頂きました。喜寿記念の時も図書カードを頂いております。次は是非とも白寿記念の図書カードがいただけるように皆で頑張りたいと願っている所です。



高17期

17期生、古稀を記念に新校舎見学

成田 俊彦

恩師中村格先生のご出席を賜り、65名の参加のもと、今年古稀(70歳)を迎える17期生は、同期会を6月11日、勤労福祉会館で開催いたしました。その懇親会の前に新校舎見学会がありました。清水附属中学校副校長先生の熱心なガイドでご案内を頂きました。「卒業以来初めて訪れた」「人工芝のグラウンド・視聴覚ホール・天体ドームなど全く一新されて驚いた」等々の声が挙がりました。

その後移動して開かれた懇親会。恩師中村格先生から「夫婦ともに健康を保つことが幸せに繋がる」とのご挨拶を頂きましたが、先生のお姿に元気とパワーを授かりました。各クラス代表挨拶、手品の余興等で楽しいひと時を過ごしました。

返信はがきの近況コメントに、歳月の流れを感じ、校歌・校友の歌斉唱の後、来年度は「いずみ会総会・懇親会」を「7の会」が担うため、同期会開催は「総会」開催日に行おうと決意新たに散会いたしました。

高8期

高校三年生8期卒業60周年記念バージョン

松岡

平成28年6月1日に青山ダイヤモンドホールにて1年半ぶりに同期会を開催。参加メンバーの固定化が残念だが、盛会。最後のメの合唱は校歌だけではなく、「上を向いて歩こう」「高校三年生」の替え歌バージョンで盛り上がった。ここに「高校三年生」8期バージョンをご披露します

- 1 番は原曲と同じ
2. 砂の渦巻く広いグラウンド 運動会のファイアーストーム
あぁ、卒業60年、ほくら共に学んだ仲間たち
元気でいようよ、いつまでも
3. 人工芝の広いグラウンド 桜の花咲く 並木道
あぁ、大泉8期生、ほくら進んだ道は違うけど
仲間のきずないつまでも



高36期

同期会に思う

平岡 通孝

昨年6月末に36期の同期会が盛大に開催された。在学中からリーダーシップのある数人が幹事として名乗りを上げ、50歳という節目の年にこのような場を設けてくれたことに大変感謝している。

当日は150名近い校友が集まり、当時の思い出や現況など時間を忘れて語り合った。みな満面の笑みである。SNS利用者の多い時世とは言え、これだけの人数を集めることのできた幹事の面々には頭の下がる思いである。

私自身がそうであったように、高校卒業以来30数年ぶりの再会という人も多かったようで、会場に着くまではそれぞれ期待よりも不安の方が上回っていたようだが、人の記憶というものはその年齢なりにトランスレート出来るようで、30数年のブランクを気にする必要などまるでなかった。よくも悪くも人の「本質」というものは変わらないのであ

ろう。

50歳は人生の折り返し地点とも言われている。これからは物事の「本質」を突き詰めることでブレることなく、引き算でシンプルに考え、行動できるようになりたい。同期会をきっかけにそんなことを考えるようになった。



年間での会員数は800名を超え、OB会名誉会長で日本ラグビーフットボール協会名誉顧問でもある日比野弘氏(高6期)をはじめとしたOB、来賓、現役、現役保護者をはじめ約120名が出席しました。

式典は物故者を偲んで黙とうで始まり、OB会会長酒井陽三氏(高18期)の挨拶に続き、来賓である東京都高等学校体育連盟ラグビー専門部菊池剛部長、東京都立大泉高等学校柴田誠統括校長、日比野弘氏の祝辞を頂戴しました。

特別企画として創部70周年記念講演を行い、講師には前早稲田大学ラグビー蹴球部監督後藤禎和氏(都立日比谷高校出身)をお願いしました。

又午前中には、記念式典に先立ち母校グラウンドにて現役、OBが70周年記念試合を行いました。

高18期 スクリーンに映す思い出

富井 利尚

6月12日に高校第18期同期会を皇居が一望の下に見渡せる霞山会館で、在校時お世話になった甲賀先生、廣瀬先生、小田切先生、園城寺先生、田上先生をお招きして和やかに開催しました。今回は卒業50周年の記念会、遠くはベトナムから、また、北海道からの参加も得て、総数110名の同期生が集い、元アナウンサーの名司会の下、在学当時のエピソード、今だから話せる内緒話等々懐かしい話題の披露に会場は大いに沸いていました。

また、大型スクリーンには、在学当時の桜並木、木造・円形校舎や、体育祭、文化祭、臨海・林間学校、榛名でのスケート等々当時の世相と共に編集された懐かしいシーンが次々と映し出され、半世紀前の大泉高校時代へのタイムスリップを満喫、思い出話に花が咲いていました。和やかな歓談を続けているうちにあっという間に3時間が経過し、恩師、同期生の健勝を祈念し、古稀を迎える次回での再会を約しての閉会となりました。



祝賀会は、一昨年NECグリーンロケッツに入団して、母校出身で初めてトップリーガーとなった山田龍之介氏(高62期・立教大学卒)の乾杯の音頭で始まり、友好関係にある秋田県立秋田高等学校をはじめとした他都立高校ラグビー部OB会の方々、「いずみ会」会長大串康夫氏から祝辞を頂きました。



ラグビー部は創立以来、常に都立高校ラグビー界をリードし、関東大会には昭和28年(1953年)に初めて行われた大会に初出場してから通算15回の出場記録を誇ります。その間花園(全国大会出場)に近づいた年が2度ありました。昭和24年(1949年)高崎高校(群馬・高崎)に0-19で敗

高25期 ラグビー部『創部70周年記念式典・祝賀会』 大須賀 誠

平成28年6月19日(日)、昭和21年(1946年)に呱呱の声をあげたラグビー部の創部70周年記念式典・祝賀会がホテルカデンツァ光が丘(東京・練馬)で行われました。70

れた年と昭和47年(1972年)目黒高校(現目黒学院)に10-64で敗れた年でした。尚この年度は目黒高校が全国優勝を成し遂げた最強チームでした。

祝賀会の締めは現在現役顧問の山田憲永先生から現役の状況等の報告を頂戴した後、高校31期を中心としたオールドOBの音頭でラグビー部部歌を斉唱してお開きとなりました。

伝統あるラグビー部OB会の強い絆を感じつつ、創部80周年に向けて現役部員の更なる飛躍を期待する一日となりました。

1次会が物足りなかったこともあり、2次会は予定を上回る人数で超満員の中、70をとくに過ぎた元若者達が遅くまで盛り上がりました。来年も40人を超える仲間が集まることを願っています。『5月18日』です。

高11期 恒例のカルチャートーク

毎年開いているカルチャートーク、今回は同期メンバーによる作品展を開きました。



高13期 盛り上がった二次会 田中 昇次

3月4日(金)池袋サンシャインのクルーズ・クルーズで同期会を実施しました。開催連絡の文章が適切でなかったために、幹事が会場に着いた時には既に参加者が待っていた、という出だしからのハプニングがありました。40名参加。初めての人、久しぶりに参加の人、入院中のところを抜け出して来た人を含めてお互いの健康を確認しあいながら指定された席につきました。歓談後〇〇による挨拶、◇◇による舞踊披露など盛り沢山の予定を組んでいましたが、マイクの調子が悪いやら、話に夢中になるやらで、混沌とした中、時間が過ぎていきました。指名された方々にはご迷惑をかけました。改めてお詫びします。

一つだけ確かなことは、山本幹事が話した『来年以降は開催日を決めて、毎年実施する』ことです。『5月の第三木曜日』で、2017年は『5月18日』ですのでよろしくお願いいたします。校友の歌を斉唱していったん解散しました。



同期会のお知らせ

- 高22期
 - 日時：平成29年6月18日(日) 13時～15時
 - 場所：西新宿 ローズガーデンホテル(ローズルーム)
 - 幹事：実行委員長 平井秀明
 - 詳細は同窓会ホームページに掲載いたします。
- 高14期
 - 日時：平成28年10月14日(金) 14:00～17:00
 - 場所：第一イン池袋 レストランピノ
 - 会費：8,000円
 - 幹事代表：布施百合子
 - 詳細は別途ハガキにてご案内します。

●今年も♪MID・SUMMER・JAZZ♪の会

8月18日、練馬区役所アトリウムで5回目となるジャズを楽しむ会が開かれました。

いずみ会サークルのメンバーを中心に、ご近所の方の参加も得て140名近くが、突然の雷雨も忘れて、懐かしい、素晴らしい演奏と食事を楽しみました。沖縄の三線、すし屋さんの「ダイアナ」、大串会長の「知りたくないの」と飛び入りもあり、ジャズを楽しんだひと時でした。



寄付・広告提供者一覧 (敬称略・平成27年度納入分)

昨年度も多くの皆様に同窓会会費、寄付及び広告をご提供頂き、誠にありがとうございました。今年度もどうぞよろしく願い致します。今回お名前を掲載しましたのは、次の方々です。

- ① 寄 付 者：平成27年4月1日から平成28年3月31日の期間に寄付を頂いた方(終身会費を超えて振り込まれた金額は寄付として扱わせて頂きました)。
- ② 広告提供者：会報いずみ第60号に広告を掲載して頂いた方。

■ 会費納入のきまりは、

- ① 高校卒業後7年を経過した年度から、満70歳を迎える年までで、今年度は高校58期の方から高校17期の方までが会費納入対象者です。
- ② 年会費は千円ですが、過去の未納会費には遡及しません。今年度分から頂きます。複数年分の納入をお勧めします。

■ いずみ会を維持・発展させるためには、どうしても資金を必要とします。今後とも会費の納入・寄付のご協力をよろしくお願い致します。

ご質問・ご意見がございましたら、次の担当までご連絡ください。

会計部長 山口達夫(高20期)

e-Mail: izumikai@v7.com

寄付者一覧 (寄付額千円単位)

【中01】藤井宏(2)、樋田並照(1)、稲見忠典(2)、鈴木孝(3)、中井敬(5)、高島辰雄(1)、羽鳥忠男(1)、村上豊(2)、春日孟(3)、【中02】中川邦好(1)、片桐利光(3)、尾内昌吉(10)、【高02】清水靖夫(5)、【高03】小川陽弘(1)、宇野順之助(3)、五十嵐孝夫(1)、【高04】浜田竜之介(2)、林利根(2)、比嘉高(10)、安井昇(1)、諸井勲治(3)、井内俊夫(5)、海野光祥(1)、【高05】大澤登(1)、大橋陽子(1)、鎗田恵美(5)、松岡五郎(3)、市川悦子(5)、斉藤毅(2)、【高06】女屋敏正(10)、柳許子(2)、原田清(1)、高松範(3)、松本日日出彦(1)、西多英治(10)、浜野章保(2)、平野和夫(1)、小林美智代(3)、永井満(3)、太田育夫(1)、土屋雅春(2)、村上昇(1)、石井岱三(10)、柚原修(1)、鴨田博伸(2)、大沢輝夫(1)、【高07】戸塚昭(3)、寺本殷昌(7)、新谷直道(10)、本道操子(10)、永池和子(1)、児島有岐(3)、【高08】堀光成(10)、野口純正(3)、小川洋子(5)、二宮靖子(10)、豊島松夫(2)、

片山隆(5)、【高09】鎌倉悦子(1)、黒崎威(3)、深町敏夫(3)、長野光康(5)、大軒史子(5)、柚原美智子(1)、【高10】田島寛(5)、阿部藤子(3)、柴久美子(5)、大谷義彦(1)、金沢健蔵(3)、安藤肇(5)、本橋達朗(10)、成瀬済(5)、【高11】匿名希望(5)、柴田紀江(3)、三浦和子(3)、【高12】中沢勲(1)、匿名希望(300)、阪本桂造(3)、【高13】戸田一誠(10)、高津幸一(30)、関直樹(10)、小浜佐紀子(1)、安達宏鎮(3)、中本攻(10)、高田勲(10)、早川淳(30)、【高14】平田雅子(10)、高木登茂子(10)、國谷俊之(10)、【高15】久保田繁(10)、保科欽司(2)、渡辺浩通(1)、秋田道子(3)、【高16】飯島信枝(10)、橋元宏(3)、増田匡男(2)、守山その子(1)、【高17】市川勇(10)、村恵子(1)、高橋大二郎(5)、大津徳明(10)、【高18】小島高志(3)、橋本豊(5)、竹中彪(5)、寺島孝(50)、飯島千枝子(5)、鈴木三枝子(5)、青木隆(20)、松田登紀子(2)、【高19】北哲夫(10)、山口幸子(1)、【高20】乃美和夫(36)、山口達夫(5)、手崎園子(2)、【高22】竜野陽子(3)、山之内裕(10)、花澤亮司(7)、石井和雄(3)、土屋博美(3)、中村香代子(3)、山中直美(3)、斎藤正義(20)、櫻田晴子(3)、【高23】保谷幹夫(2)、清水達朗(3)、【高24】佐々木百合子(5)、【高25】梅沢教行(1)、和田達夫(3)、【高28】清水義裕(3)、【高29】杉山裕子(1)、【高30】大島寛治(1)、大坪由佳(1)、【高31】原邦子(24)、関島勝巳(3)、竹中文字子(1)、矢崎千枝(1)、太田悦子(10)、【高32】田中裕一(8)、仲沢浩一(1)、林和江(4)、【高36】平田勝裕(2)、【高41】橋本仁(1)、【高44】内海大輔(1)、中津留勉(2)、【高57】山崎亮(2)

広告掲載にご協力いただいた方

高14期 高木 登茂子 (高木自動車)
 高14期 神崎 隆洋 (神崎建設株式会社)
 高15期 久保田 繁 (久保田産婦人科病院)
 高16期 鈴木 次夫 (鈴木クリニック)
 OB・OG合唱団

■年会費の銀行振込みによる納金が可能です

銀行振込みでも年会費を受けけることになりました。前受会費として複数年分も受け取ります。なお、振込手数料はご負担ねがいます。

- 振込先：
 三井住友銀行 武蔵関支店(ムサシセキ支店) 普通口座
 口座No 6864113「いずみ会会計部長山口達夫」宛
- 振込者名：
 例：K200649 オオイズミ タロウ

【重要】お名前の先頭に必ず会員IDをつけてください
 (会員IDは、ゆうちょ払込票で確認できます)

西武池袋線「練馬駅」北口下車3分

鈴木クリニック

○内科 ○小児科 ○呼吸器内科 ○消化器内科

都立大泉高校内科校医 **鈴木次夫** (高16期)

〒176-0001 東京都練馬区練馬1-27-1
TEL. 03-3991-1581

♪ 貴方も一緒に歌いませんか ♪

大泉高校OB・OG合唱団

- 練習 月2回 金18:00~20:00
- 会費 月1,000円位
- 場所 勤労福祉会館(大泉)

連絡先 **大野和美** (高7期)
 Fax・電話 04-2990-2330
 メールアドレス qzb12356@nifty.com.

東北大震災

風化させないために わたしたちは!



高木自動車代表取締役 **高木登茂子** (高14期)

〒353-0001 埼玉県志木市 TEL. 048-473-0039



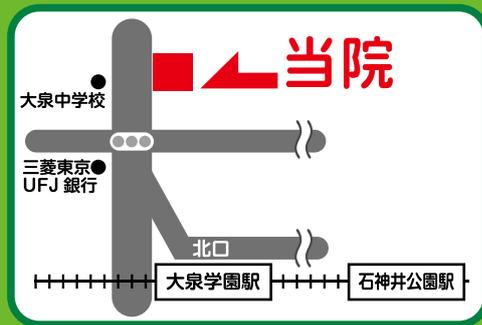
産科・婦人科・不妊相談

救急指定
 母体保護法指定
 医療法人社団

久保田産婦人科病院

小児科(月・水・金)PM2:00~3:30 大泉学園駅北口徒歩5分

TEL 03-3922-0262 <http://kubota-hosp.jp/>



神崎隆洋 著

カンザキの注文建築 無垢の木と漆喰

ヒノキをふんだんに使った**丈夫で超健康住宅**
 木造、鉄骨、鉄筋コンクリート造り
 耐震・免震の家



本社 杉並区今川 3-20-5

カンザキ建設
03-3397-1150
<http://www.hinox.net>



浜田山支店 杉並区浜田山 4-10-8



☆16期クラス幹事ではありますが、卒業から50年余、いずみ会への関わり合いも卒業してもよいのではないかと考えています★大泉高校は日々変化していますが、母校と応援団の活躍を心より祈っております☆会報をいつも送っていただき有難うございます★いささか将来が心配な社会になっていますが、平和が続くよう誠実に正直に生きてゆこうと思っています☆70周年記念の「私と大泉」、楽しく拝見致しました★愛知県在住ですのでなかなか総会には出席できません。皆様によろしくお伝え下さい☆以前、受験参考書を多く出した都立高校がありました。何かで特色のある学校になるよう願っています★皆様のたゆまぬ思いに支えられて、同窓生が70年歩んでこれたとつくづく思っています☆会報いずみ、楽しく読みました。次回も楽しみにしています★訃報欄に旧友の名を見つけしばし黙とうします。ご苦労ですが発行お続けください☆校歌と校友の歌を口ずさもうと思っても、ところどころ思い出せなかったり、1,2,3番がごちゃ混ぜになったりして困っています。正確な歌詞を載せて下さい★70周年おめでとうございます。まとめてくださる方々のおかげです☆気が付くと卒業してもう半世紀が経っていました★全学年が参加したくなるような風土をつくるべきで、一部の学年が突出している現状は困ったものです☆校長だった菊地芳男先生が亡くなったのは本当でしょうか。ご冥福を祈ります。大学3年ですが、就職が気になるところです★あと少ししましたら、様々なサークルに参加したいなあと思ひながら会報を読ませていただきました☆東京を離れて27年になります。高校は大変きれいになったと聞いております。今年中国から戻ってきました★主人の認知症の介護と、私は膝の半月板損傷で歩行困難のため欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします☆87歳ともなると歩行困難となり、出席したいが無理。母校の写真を見て、昭和20年当時の面影が残っていないのが残念です。些

少なからず5千円ご笑納ください★遠く離れた地で長く生活していますので、会報はとても楽しみです☆池袋線の車窓からいつも母校に新設された“校名の看板”をみつめています。その先の保谷高校にはだいたい前からあり、うらやましく見ていました★神戸に住んで45年が経ちました。5月の同窓会は卒業50周年で参加し、大変懐かしいひとときでした☆会報に母校の校舎と、校舎上階から撮ったグラウンド、それに平地から撮った全体の写真を掲載してほしい☆会報の内容が盛りだくさんで結構だが活字が小さくて読みづらい★いずみ会にかかわる役員の方には心から感謝を申し上げます☆第59号の写真で14期布施さんの水没した校庭と32期のポプラ並木は、私も以前持っていたが無くしてしまっていたので、懐かしかった★22期の活動がもっと活発になりますように☆70周年感無量。戦時中の仮校舎が印象的★会報を拝読いたしますと、生きる喜びを共に分かち合うような気持ちになります。皆様のご健勝とご多幸を祈らずにはられません☆寿喜を過ぎて高校時代を振り返ると、勉強したことよりも運動会での仮装行列やNHK合唱コンクールを思い出します★「私と大泉」楽しく読ませていただきました。あの頃にタイムスリップし楽しかった思い出が次から次へ☆70年おめでとうございます。賀詩を送ります。賀泉会設立七十周年 入門傍路校章桜 幾万生徒送又迎 七十年來開歳歳 今猶聞得大泉声★外国への修学旅行の事前学習をOBの方が講師を務める。さすが伝統校大泉ですね☆中高一貫が校風にどのように影響するのか、自主創造文武両道の理念は陳腐化していないのかの特集を希望します★花の二年四組は私の人生のあらゆる原点です。校友の歌は今でも愛唱歌の一曲です☆91歳になりました。今でも生徒(昭和10年生)が正月や誕生日に来てくれます。良い生徒を持って幸福な人生でした★忘れぬ頃にやって来る「会報いずみ」。今回は内容豊富で大盛の天ぶらそばみたい。眼鏡にルーペを加えてようやく読了しました☆最近西武線高架から

校庭が多少見えるようになり昔を思い出す☆過去の会報がアーカイブとして閲覧できるようになれば嬉しいです(いずみ会のHPでご覧いただけます:事務局)★「私と大泉」にあった小島勇作先生の世界史は中国史から始まるという20期卒の方の思い出は同感で、大変懐かしく当時の授業をよみがえらせてくれました☆学校の写真、校歌などのDVDやCDを作って販売してください★池上彰氏が母校で講義というTV番組があり、大泉が出てました。気づくのが遅く5分くらいしか見られず残念でした☆自由闊達な高校生活を送ってから来年で60年。今もいずみ会の活動に参加して、ますます大泉高校の素晴らしさを実感しています☆名簿はあまり現実的ではなく、申し込みはしませんでした★囲碁同好会のメンバーを増やしたいのですが、誰かいませんか?☆Webページで「詳細」のリンク先をスマホで見ることができません。見られるようにしてください★会員の名簿を作成する必要がどこにあるのでしょうか☆しっかりとしたい同窓会に成長しましたね☆どの高校にも同窓会があるわけではないとわかり、大泉高校を誇らしく思います★私の勤める東京都では住所、氏名等はすべて個人情報として保護の対象になっています☆会報の20期の方々の投稿や朝礼の小さな写真、楽しかったです☆在学中、学校の近くのお店で昼食のコッペパンを買って食べたことを懐かしく思い出します★戦争中何度か死にそくなったが86歳生きております。一年生の時は近隣の農家の手伝い、学業は中学2年の一学期さえも満了していない。基礎学力がないので大学で教授の話が難しく困った☆先日、大泉高校の近くを通った折あまりにも変わっていたのでビックリしました★パスワードによるセキュリティを確実にしたうえで、卒業アルバムの写真にアクセスできるようにしていただきたい☆久しぶりにレッドアロー号に乗り、見えるかなと思っていたら見えました!要塞のような建物に、母校が無くなってしまったようで複雑な心境に★

追悼 ご冥福をお祈りいたします

■先生方

教科	現姓	逝去
英語	山本 美園	H28.5.31
国語	大野 義彦	H27.3
芸術	中荃 久男	H27.1.16
英語	小山 晃三	H27.5.6

高校6期	内山(松本)恭子	H27.12.4
高校6期	岩瀬(藤田)敦子	H28.3.9
高校6期	渡辺 昭本	H25.3
高校6期	真中 貞夫	H27.7
高校7期	加藤 進子	H27.4
高校7期	丹 巖	H27.12.26
高校8期	山岸 敬司	H28.1.10
高校9期	戸川 敦	H28.1.10
高校9期	林 久治郎	H28.1.14
高校10期	羽根田 千賀子	H27.10.05
高校11期	増田 明彦	H27.09.17

高校12期	山田 耕治	H27.12.14
高校14期	富永 恭弘	H28.4.4
高校18期	戸津 正	H28.6.23
高校18期	小池 博	H28.1.2
高校18期	横山 久夫	H27.1.18
高校18期	岡本 豊	H27.12.13
高校18期	井出(山城)納子	H26.11
高校18期	桑村(井出)賀代子	H26.2
高校29期	国岡 道夫	H27.1.14

■会員訃報 (敬称略)

期	現姓	逝去
中学2期	田中 清	H27.11.11
高校3期	小山 正直	H28.3.2

人材バンク登録

いずみ会では毎年母校中・高生へのキャリア教育及び中2生英語特別講座へ講師を派遣しています。本誌6面の記事のように活動を続けておりますので、皆様のご経験と知識とをともに御協力いただける場合には同封の総会返信用ハガキ所定欄に必ず連絡先電話番号をご記入の上お申し込み(登録)下さい。

いずみ会文庫

皆様の著作をいずみ会へご寄贈頂ける場合は直接学校までお送りください。(ご本人の著作に限ります)

〒178-0063 練馬区東大泉5-3-1
都立大泉高校図書館担当者 宛



サークル活動一覧

健康麻雀教室・古典文学講座・まんぼ会が第一歩を踏み出してから早いもので10年が経過いたしました。10年間の足跡はいずれ紙面にて皆様にご披露をと計画しております。

ご興味のある方はいずみ会窓口へご連絡ください。

- ☆健康麻雀教室：代表 有田二郎(高6期)
第1・第3火曜日・11:30~17:00 いずみ会室
- ☆古典文学講座：講師 大軒史子(高9期)
第4木曜日・10:00~12:00 櫻さろん
- ☆囲碁の会：代表 田島寛(高10期)
第3水曜日・13:00~17:00 いずみ会室
- ☆英語講座：講師 廣瀬芳子(高11期)
第2火曜日・10:00~12:00 いずみ会室
- ☆茶の湯：講師 野口悦子(高10期)
第2月曜日、第4木曜日・14:00~16:00 櫻さろん
- ☆レディース健康麻雀
第2、第4金曜日・12:00~17:00 いずみ会室
- ☆まんぼ会：代表 大高光蔵(高13期)・隔月
- ☆里山クラブ：代表 石田要久(高5期)・不定期

総務・企画部より

●同期会を開きませんか?

期幹事の皆様、いずみ会では同期会開催のお手伝いとして宛名ラベル・名札の作成・名札入れのご用意・お知らせの会報、webページ掲載・校歌、校友の歌音源貸し出しなどのサービスを提供いたします。また、初めて同期会を開かれる期の幹事の方はいずみ会までご相談ください。初回の郵送費一部負担などのサービスもご提供できます。詳しくはいずみ会窓口までご連絡ください。

●来年は「7の会」

期の一の位が「7」の皆様、来年は母校文化祭・いずみ会総会・懇親会でご活躍いただくこととなります。本年10月29日(土)のいずみ会総会・懇親会には是非お出まじいただき「7の会」への心のご準備をよろしくお願いたします。

いずみ会連絡窓口

〒178-0063 練馬区東大泉6-34-30 SKビル305号
e-mail: izumikai@v7.com fax: 03-3925-1486
総務・企画部長 伊藤 勲(高40期)

[総務・企画部]

ご意見・ご感想・いずみ会室利用・サークル
問い合わせ・同期会開催・その他

[会員情報部]

住所変更・宛名シール・名札作成

[会計部]

会費・ご寄付等の問い合わせ

編集後記

昨年いずみ会は70周年を迎え、今年会報いずみは60号を発行いたします。サークル活動は11年目に入り、中高一貫校一期生は今春、高68期生として卒業、いずみ会の新しい仲間に加わりました。長い歴史の中で、社会、経済、大きく構えれば地球環境も変化する中、考え方や、生き方は様々ですが、大泉高校の空気を共有した3年間に培った“何か”がきっと心の中に。会報にて母校の様子、いずみ会の活動、恩師の方々の思い出、会員の方から寄せられた声等々お読みいただいて、ふと『ん!』と思われた時、『そうだ!いずみ会へ行ってみよう!』小さなボランティアの力が集まればいずみ会はもっと元気になり、前進できます!!お待ちしております。編集委員:荒井真理子、小林憲一、福井陽一(高20期)浜田光、植村久(高21期)平井秀明(高22期)真柳仁(高24期)

2016年10月29日(土) いずみ会総会・懇親会のご案内

次のステップへ タテのつながり ヨコのひろがり

今年は、3巡目の“6の会”が
ROCK(6・ろっく) YOU!!
「心を揺する!!」

と き	2016年10月29日(土)
ところ	総 会：母校1階食堂 14時30分～15時30分(受付開始14時00分～) 懇親会：母校1階食堂 15時45分～17時30分
会 費	3000円(ただし62期～68期は1000円)
	*ご出欠、その他のご連絡は、会報同封のハガキにて10月15日までにご返送ください。
	*二次会：練馬区立勤労福祉会館1階集会室 18:00～(大泉学園駅より徒歩3分) お飲み物とおつまみをご用意しております。

1995年にいずみ会創立50周年記念祝賀会が母校体育館で盛大に開催され、800名の会員が集いました。この新生いずみ会のパワーを持続させるため、翌96年の総会から当番期を定めて懇親会の企画・運営を担当することになり、早速卒業期の一桁目が6の期が「6の会」を構成してスタートいたしました。以来20年、今年当番期制度は早くも3巡目に突入いたします！ 母校が、中高一貫校となって6年が経過し、この3月には初めて6年間をたっぷり大泉で学んだ新会員が、目出度く卒業し、本いずみ会に入会して来ました、心から歓迎いたします。

懇親会は、中学期卒業の大先輩から6年間一貫教育での新入会員まで、多様な会員の皆様の、縦の繋がりと同横の広がりをステップアップしてさらに充実したものとなるようにいたしたく、当日は大いに語り合い、旧交を温め新しい出会いを作り、全員参加型のイベントなどで盛り上がるような趣向を企画しております、皆様是非とも奮ってご参加ください。



いずみ会会長 大串 康夫 (高14期)
「6の会」会長 橋元 宏 (高16期)